

誰もが安全で快適に生活できる バリアフリーのまちづくりをめざして

令和4年度

秋田県バリアフリー推進賞

表彰事例集



※本紙に掲載されている表彰の内容は、受賞当時のものです。



美の国あきたネット

募集部門

●施設部門

高齢者や障害者をはじめ、だれもが利用しやすいように配慮された施設

●活動部門

①一般部門 ②ジュニア部門（高校生以下）

バリアフリーに関する普及啓発活動、高齢者や障害者等の社会参加の支援活動、安心して生活できるまちづくりの取組など

●製品開発部門

高齢者や障害者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための福祉用具の製品、試作品、改良品など

●バリアフリーマップ部門

①一般部門 ②ジュニア部門（高校生以下）

地域におけるバリアフリーマップの作成、利活用への取組

秋田県健康福祉部 障害福祉課

〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目 1-1
TEL : 018-860-1331 FAX : 018-860-3866
E-mail: Shoufuku@pref.akita.lg.jp

施設部門

「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」に規定する生活関連施設で、高齢者や障害者をはじめ、だれもが利用しやすいように配慮され、条例の整備基準に適合している施設。また、既存の施設については、改善に積極的に取り組んでいると認められる生活関連施設。

■ 生活関連施設とは

- ・ 不特定多数の方が利用する建築物（医療・集会・福祉・運動・文化・宿泊施設、物販店、飲食店、サービス業店舗など）、公共交通機関の施設、道路、公園路外駐車場など。

■ 留意点

- ・ 他の施設や団体のモデルとなるような創意工夫があること
- ・ 充実した整備内容であり、他の施設・団体への普及が期待できること

秋田県信用組合土崎支店

所在地 秋田市土崎港南二丁目3-53

設置者 北林 貞男

設計者 有限会社村田弘設計事務所 村田 良太

人にやさしい金融機関をコンセプトに道路側に沿って設けた雁木（がんぎ）づくりの歩行者用通路を設置、駐車場には冬の凍結に備えて融雪設備が備えられ、車椅子での出入りもスムーズにできるよう設計されています。



一般の方も歩道として利用できる人にやさしい通路

青荷山荘

所在地 仙北市田沢湖生保内下高野73-14

設置者 堀田 雅人

誰でも安心して泊まれる宿づくりを進め、1階客室を車椅子対応トイレ付きの和洋室に改装、併せて入口の段差をほとんど無くし、浴槽に手すりを設置するなど、工夫されています。



高齢者や障害者にやさしい設計のバリアフリーのお風呂

株式会社プレステージ・インターナショナル 秋田BPOにかほキャンパス

所在地 にかほ市平沢字堺田84-1

設置者 玉上 進一

設計者 前田建設工業株式会社 伊藤 優

障害のある方の就労環境として優れており、カーポート付き車いす駐車場、従業員が働くスペースもバリアフリーとなっているなど、工夫が見られます。



荒天の日の乗り降りに配慮されたカーポート付き車いす駐車場

活動部門（一般部門、ジュニア部門（高校生以下））

バリアフリーに関する普及啓発活動、高齢者や障害者等の社会参加の支援活動、安心して生活できるまちづくりの取組などが対象。

■ 作成、活用例

- ・ バリアフリーに関する理解を深めるための普及啓発活動
- ・ 障害者等が安心して生活ができるまちづくり活動
- ・ 福祉体験を通じて感じた「心のバリアフリー」の体験発表会
- ・ ヘルプマーク、ヘルプカードの普及啓発活動
- ・ 小中高生や一般ボランティアによる駐車場の塗装活動によるバリアフリーへの意識啓発
- ・ 美しい山の自然を障害者と家族などが共に感じ楽しむユニバーサルフィールドとして提供
- ・ 義足の体験や身体障害者との交流や講義を通じて、ユニバーサルデザインについて考える機会の提供 など

ジュニア部門（高校生以下）

点字ブロックを多くの方々に知ってもらうための活動

活動団体 秋田県立視覚支援学校 児童生徒会

点字ブロックの理解促進活動として、県内の駅構内やイベント会場にて、点字ブロックに関するアナウンス（録音）を行い、障害のある方と共に安全安心に暮らすことができる社会を願い、自発的に活動しています。



千秋花火会場のステージで点字ブロックの大切さを呼びかける児童生徒会



駅構内やイベント会場でアナウンスするための収録を行う生徒

一般部門

心のバリアフリーを進める取組

活動団体 特定非営利活動法人 NAOのたまご

障害児・者への支援、講演会、対談会、映画上映会や参加制限の一切ないコンサートの開催を通じて、健常者と障害者などが出逢い共感しあう機会を提供することにより、「心のバリアフリー」の浸透した社会を目指しています。



対談会「折れない心を創りたい」



入場制限のない「じゃないコンサート」

製品開発部門

高齢者や障害者等の自立支援や介助者の負担軽減を図るための独創的な作品など。
応募作品は実物作品とし、製品、試作品、改良品などの別は問いませんが、他者の知的所有権を侵害しないものに限りです。

■ 開発例

- ・ 自助具、福祉用具等の製作、福祉用具等の統一規格の策定 など

バリアフリーマップ部門（一般部門、ジュニア部門（高校生以下））

地域におけるバリアフリーマップの作成の取組が対象。ただし、作成したマップの配付、ホームページへの掲載など、積極的に利活用を行っている場合に限りです。

■ 作成、活用例

- ・ 車いすでも利用できる地域の施設、トイレについて、障害者と共同してマップを作成 など

バリアフリー推進賞について

【表彰対象について】

県内において、バリアフリーに関する施設の整備、製品の開発及び推進・普及のための活動等について、
①施設部門、②活動部門、③製品開発部門、④バリアフリーマップ部門ごとに顕著な功績又は功労のあった個人又は団体とします。

ただし、国又は県が行った事業や同一の功績により知事表彰を受けたものは除きます。

【推薦・応募方法について】

自薦・他薦を問わず、どなたでも応募することができます。

応募用紙に必要事項を記入し、必要な資料等を添付して、秋田県健康福祉部 障害福祉課まで送付してください。 ※提出された書類等は原則として返却しません。

応募期間や応募用紙、過去の表彰例については、秋田県ホームページで情報発信しています。

<https://www.pref.akita.lg.jp/> 又は 「秋田県 バリアフリー推進賞」で検索！



【選考方法について】

秋田県バリアフリー社会形成審議会に設置された選考委員会で、先駆的又は県内に広く普及するにふさわしいと認められる取組を選考し、選考結果を受けて知事が決定します。選考に当たっては、現地審査等を行います。



秋田県では、誰もが安全で快適に生活できるバリアフリー社会づくりを県民一体となって進めるため、平成14年3月に「秋田県バリアフリー社会の形成に関する条例」を制定しました。その一環として、バリアフリー社会づくりに積極的に取り組んでいる方を表彰し、広く県民の皆さんに知っていただくことによって、バリアフリーをより一層推進する目的で、「秋田県バリアフリー推進賞」を実施しています。

皆さまからの応募をお待ちしています